柏樹鷹狩鏡　一面

【所　在　地】薩摩川内市宮内町 1935 － 2　新田神社
【種　　別】国指定有形文化財（工芸品）
【指定年月日】昭和 28 年 11 月 14 日

径 22.5cm，縁厚 0.6cm，胎厚 0.12cm，重さ 614g である。

新田神社所蔵の３面の重要文化財指定の鏡の中で, この鏡がいちばん肉厚にできている。

文様は，満開の柏の木に２羽の鷹を配し，流水には水草が浮び，空には雲が流れる様を描き，ややこみ入った図様となっている。

藤原鏡に属する様式だが，製作年代は南北朝期と推定されている。